



Press Information
2019.7.18

HONDA
The Power of Dreams



「N for you」 あたらしいN-WGNができました

2011年にデビューした「N-BOX」から始まった「N」シリーズ*1はHonda独自の「M・M(マン・マキシマム / メカ・ミニマム)思想」によって生み出された広さ、心地よさを活かしてシリーズのラインアップを拡大。日本中のさまざまな方からご好評をいただき、累計の販売台数は約230万台(2018年度末時点)*2におよびます。

2017年には2代目N-BOXをデビューさせ、「N」シリーズは「第2世代」へ。初代より変わらないHondaのクルマづくりの基本思想を受け継ぎながら、これまで以上に「日本の生活に寄り添うクルマ」を目指して進み続けています。

家族の幸せをとことん見つめた「N for family」N-BOX、働く人にとって本当に使いやすい軽バン新基準の創造に挑んだ「N for work」N-VANに続いてHondaが今回お届けするのは、「私のためのN」。日本中の多様な「私」の生活を豊かに変える、あたらしいN-WGNの誕生です。

*1 N-BOXシリーズ、N-ONE、N-WGN、N-VAN

*2 一般社団法人 全国軽自動車協会連合会(全軽自協)調べ

「N for family」N-BOX

お子様のお世話がラクにできて、会話のはずむ楽しい室内空間も生み出すスーパースライドシート仕様や、車いすのまま乗り込める広々とした空間が簡単操作で現れるスロープ仕様などをラインアップ。小さな赤ちゃんのいる家庭にも、車いすの方がいる家庭にも。日本中の家族にぴったりの「N」です。



「N for work」N-VAN

横からでも後ろからでも大きな物を積み込みやすくした「ダブルビッグ大開口」や、助手席まで使って長尺の物を積み込める室内空間の設計により、たっぷり積めて使いやすい、優れた機能性を実現。走るオフィスとしての快適性も妥協無く目指しました。みんなが生き活きと働ける環境を作り出す「N」です。



New Simple!

「N for you」。このコンセプトが意味するのは、年齢や体格はもちろん、生き方も暮らし方も多様な「私」が毎日を過ごす中で、本当に自分らしく使えるクルマでありたい、ということです。本来、クルマそのものより、生活が先にあります。そこに迎え入れていただいた最初の日から、まるでずっとそこにいたかのように、しっくりとなじんでくれるクルマにしたいと思いました。そのために、なにより大切だったのは、「シンプルであること」です。

簡素で味も華も無い……という意味ではありません。目指したのは、さまざまな人が自分らしさを投影できて、どんなシーンでも便利に使えて、思

った通りに走ることができる、生活のパートナー。当たり前なのが当たり前で、しかも乗る人を楽しい気持ちにしてくれる乗り物です。

言葉にすると簡単ですが、かたちにするのは大変です。クルマとしてのたずまい、クルマを構成するパーツの形状、人の座らせ方、操作に対するクルマの動き方。すみずみまで徹底的に磨き上げなければ、毎日を楽しんでくれる、本当の意味での「シンプル」なクルマにはなりません。日本の暮らしを見つめ、本質を磨き上げる。私たちはこの考え方を「New Simple」と名付け、N-WGNを開発する上でのキーワードにしました。



毎日の生活の中にある「運転する」「移動する」という行動を楽しんでくれる、あたたかみを持ち、ずっと大切に使いたい、機能的で愛着の湧くかたち。



体格を問わず身体になじみ、運転することが楽しくなる。深く考えなくても、見たまま、思ったままに使いこなせる。長年使ってきた道具のような使いやすさ。



街でも高速道路でも、朝でも夜でも、あるいは運転が得意でも苦手でも。シーンを問わずクルマのことを信頼して気持ちよく使える安心感。

開発者の想い

いまの時代の「素敵な人」ってどんな人でしょうか。人それぞれ考え方がありますが、私たちには「自然体で生きている人」が輝いて見えます。自分のオリジナルの価値基準を持ち、いつでも自信を持って生きている。あたらしいN-WGNは、そんな生き方に寄り添えるクルマにしたいと思いました。

言うまでもなく人の生活は多様で、そこになじむクルマをつくることは簡単ではありません。簡素なだけのクルマでも、「八方美人」なクルマでもなく、クルマの方から「ひと」に歩み寄ってくれるような、ぬくもりを感じられる存在にするにはどうすればいいのか。

答えはもちろん、「暮らし」にあります。クルマがあると何をしたくなるの

か、みんなはどんな運転をしているのか、不安を感じるのはいつで、どうすれば安心できるのか——。チーム一体となってさまざまな人の暮らしを見つめ、気持ちを考えながら開発を進めてきたことで、乗る人が何も我慢せず、いつもどおりの自然体で乗りこなせるものに上げることができました。

Nシリーズのひとつとして、今まで以上に「心のこもったクルマ」を作り上げることができたと思っています。

どこへ行くか、誰と乗るか、いつ乗るか。すべては使う方の自由ですし、あたらしいN-WGNはどこまでもあなたに寄り添っていきます。ぜひ心のままに使いこなしていただきたいと願っています。



N-WGN 開発責任者

古舘 茂 (ふるだて しげる)

(株)本田技術研究所 主任研究員

1991年、本田技研工業(株)入社、(株)本田技術研究所に配属。7代目アコードの車体排気設計、3代目オデッセイの車体排気設計チーフを経て、初代N-BOX先行開発の車体設計LPL代行を担当。N-VANに続き、今回2代目N-WGNのLPLを務める。趣味はバイクツーリング、愛車はN-VAN、CB1000R。



Press Information
2019.7.18

INDEX

暮らしになじむ
デザイン

6

表情	7
フォルム	8
たたずまい	9
ディテール	10
室内空間	11
素材と造形	12
N-WGN Custom	13
カラーバリエーション	14

みんなに優しい
使い勝手

15

ドライビングポジション	16
エンジン、トランスミッション、ブレーキ	17
サスペンション、空力性能、ステアリング	18
ボディー	19
ラゲッジ収納	20

誰でもどこでも
楽しく乗れる安心感

21

視界	22
Honda SENSING、安心・快適装備	23
衝突安全性能	24
装備表・スペック	25



暮らしになじむ デザイン

自分の暮らしに迎え入れた最初の日から好きになって、
ずっと大切にできるかたちとはどんなものでしょうか。
あたらしいN-WGNはそれをしっかりと考えました。
移動の時間を楽しむための「クルマ」という
乗り物の本質的なかたちを磨き上げながら、
「表情」やたたずまいで「いっしょにいて
幸せな気持ちになれる」存在感を追求。
どんな気分のときも心地よく使えて、前向きな
気持ちになれる空間のつくりにもこだわりました。

ずっと大切にしたいくなる 親しみやすい表情

「顔」はクルマにとって大切です。でも「かわいい顔」や「かっこいい顔」とは違う、見つめるほどに好きになる「親しみやすい顔」というものもあるはずです。クルマにとって必要不可欠なヘッドライトやグリルを、必要な大きさと、あるべき場所に配置することで、親しみやすい表情をつくる。N-WGNの「顔」はそんな考え方でかたちづくられています。



ヘッドライト

ハロゲンランプ*として最も効率的な配光を実現できる「丸目」のヘッドライトは、まっすぐに前を見据えています。「幅広さ」を演出するために車体の横に回り込ませた形状にする例もありますが、そ

もそも大ききの決まっている軽自動車。小さなものを大きく見せることよりも、生活のパートナーにふさわしい、親しみやすい表情を作り出すことを大切にしました。*タイプ別設定

LEDヘッドライト ※タイプ別設定

LEDヘッドライト仕様では外周がライン状に光るデザインを採用。N-ONEや第2世代Nシリーズに共通する、先進性と親しみやすさを兼ね備えた表情を作り出しました。ウイinkerは「丸目」に被さる量を微妙に調整。リキんでるわけでも、ユルんでるわけでもない、凛とした表情をつくりだしました。



グリル

エンジンの冷却や、前方の歩行者やクルマの検知に必要なだけの大きさの口を開けました。立派に見えるとか、強そうに見えるとか、未来っぽいとか、N-WGNに関してはそういうのはナシです。あるベ

きものが、あるべき場所に、しかるべき大ききできちんとついている。機能を突き詰めたデザインとしながら、いいものがギュッと詰まった「凝縮感」を演出しています。



生活になじむ心地よさと安心感をもたらす やわらかいけれどしっかりしたフォルム

フロントフェイス、ドア、リアゲート。あたらしいN-WGNのボディーは、どこもハリのある面で構成され、これが生活になじむやわらかさを生んでいます。

パキッとした「折り目」はどこにも入っていませんが、繊細なふくらみのつくり方でしっかり感を表現。安心感を持って乗っていただけるデザインを実現しました。

サイドビュー

あたらしいN-WGNのドアは、ふっくらとした表情が特徴。これによって、サイドビューにフロントからリアまで続く「かたまりの芯」を生み出しています。多くのクルマのドアは鉄板に「折り目」を入れるこ

とで外から押されたときの強度を確保していますが、N-WGNはこれと異なり「外板」を内側からしっかりと支える方法を採用。「折り目」に頼らない、あたらしい表現を実現させました。



リアビュー

ドアと同様、リアゲートもハリのある親しみやすいかたちに仕上げました。

リアゲートが開くときの切れ目は全体のフォルムになじませて、上から下に向かって広がる「台形」の後ろ姿を強調。このフォルムでタイヤに重みが乗っているような、クルマとしての安定感あるリアビューを表現しています。



どこかに連れ出したいくなる 元気に動き回りそうなかたちと安心感

クルマは「置物」とは違います。毎日の暮らしに欠かせない「移動」を楽しむためのモノである以上、あたらしいN-WGNもまた、走っている姿がいちばん活き活きとして見えるデザインを目指しました。駐車場に置いておくだけではもったいない。納車されたその日から、あちこち連れ出したいくなるフォルムです。



たたずまい

四隅に置いたタイヤや張り出したフェンダー、クルマの重みがタイヤにきちんと乗って見えるようにすることで「動き回りそうなかたち」を表現。

おおらかでありながらも、元気に走り回る姿が予感できる。そんな絶妙のバランスを追求しました。

すみずみまで愛せるこだわりのディテールと 長年の愛着に応える仕上げの美しさ

引いて見ても、寄って見ても魅力的。クルマとして丁寧に作りこまれたかたちの中にちりばめられた、数々のこだわりも、あたらしいN-WGNの魅力です。一緒にいろいろな場所に行き、さまざまな光の下で見たときに、いつでもあたらしい表情を見せてくれる。そんなクルマに仕上がったと自信を持っています。

繊細な面

おおらかな面を引き立てるために、フェンダー、ピラー、ボンネットにあしらった数少ないライン。これを、うっすらと削り取ったような面によって生み

出すことで、フォルム全体の豊かなニュアンスを引き立てています。

ホイールキャップ ※タイプ別設定

「本質的なかたちを磨き上げる」という考え方に基づき、「まるでアルミホイールに見える」造形ではなく、「ホイールキャップとして魅力的なかたち」を追求しました。ハリのある面を丁寧に吟味して質感の高さを表現。ホイールの穴とホイールキャップの小窓の位置も揃え、すっきりと整った印象に仕上げました。



ドア開口部

ドアを開けたときに見える何本ものラインは、クルマとして必要な強度を持たせるために不可欠なもの。この機能を満たしながらも、心地よい曲線を描きたいと考えました。「規則性」が感じられるラインは、開発の初期の段階からデザイナーと設計チーム、生産チームが意思を統一することで実現可能になったものです。



フューエルリッド

給油するときの手順はシンプル。クルマから降りてフューエルリッドの表面にある「押したくなるへこみ」を押すだけです。

機能を追求した形状の中に、ほんのりと遊び心が感じられる。あたらしいN-WGNの親しみやすいキャラクターを表すデザインに仕上げました。

キャップをひっかけるフックは鉄板の「断面」が見えないようにデザイン。給油のときの安心感を高める形状としました。



毎日心地よく過ごせる 落ち着いた空間

広いことは大切なことです。でも、毎日の生活をともにするクルマとして、それと同じくらい「心地よく過ごせる」ことも大切なことです。運転する人も、同乗する人も、乗ることで前向きな気持ちになり、どこかへ出かけたいくなる。降りたあとに「また乗ろう」と思える。そんな空間のデザインを追求しました。



室内空間

運転席は、クルマを走らせるための動作が自然にできる、運転しやすい空間に。助手席は、身の回りのアイテムを気軽に手の届く位置に置いて、ドライバーとの時間をゆったりと楽しめる、くつろぎの空

間に。足が組めるほどの広さを持った後部座席は、自由な姿勢でのんびり過ごせる、おもてなしの空間に。それぞれの座席で快適に過ごせる、心地よい室内空間に仕立てました。

身体になじむ「肌触り」と心落ち着くやわらかな造形

たとえば、肌触りのいいシャツが気持ちをリフレッシュしてくれるように。あたらしいN-WGNの室内空間も、乗る人の「身体」を通じて気持ちを明るくできるクルマを目指しました。やわらかなシートで身体を包み、ゲストにはたっぷりとしたアームレストでくつろぎを提供。収納スペースやメーターは機能性のみならず、見た目にも心地よさを感じられるようデザインしました。



シート

人に「なじむ」という考え方にのっとり、やわらかく包み込むような形状で、走行中、上下左右に動く身体をしっかりと受け止めます。また、背面側をインテリアカラーと同じブラウンにすることで、大きなシートを空間になじませて、広さと座りやすさを同時に感じられるようにしました。シート表皮はアイボリーの濃淡の中にブルーやイエ

ローのアクセントをプラス。表面も立体感のあるふっくらとした素材で、シンプルな形状にナチュラルな表情を与えています。



メーター

運転中、常に見るメーターだからこそ、明快でわかりやすいデザインを目指しました。特に重要なスピードメーターを中心に据え、自分の部屋で毎日見ている時計のように数字を大きく配置。四角と丸を組み合わせることで、クルマのメーターらしい読みやすさを残しながら、生活になじむデザインとしています。



ドアアームレスト

どの席に座った方にもゆったりした姿勢で過ごしてもらえよう、コンパクトな軽自動車であることを忘れてしまうほどにたっぷりとしたサイズのアームレストを装備しました。見た目にも優しい印象に仕上げるとともに、腕を伸ばした先にはボトルホルダーを設け、あたらしいN-WGNのくつろぎの空間を演出しました。



助手席トレイ

きっちりと整理しなくても気軽にものが置けるよう、「囲い」を無くし、運転席からも使いやすいようにワイドなデザインにしました。やわらかく波打つような造形とすることで、見た目の心地よさと、クルマの動きで物が落ちない機能性の両方に配慮しています。すぐそばにはスマートフォンの充電に使えるUSBジャック*も設置し、ストレスフリーに使えるようにしています。 *タイプ別設定



大人の感性に響くカスタム

あたらしいN-WGNの基本的なデザインの考え方を受け継ぎながら、シックな印象に仕立てました。しっかりと地面を踏みしめるたたずまいをより大胆に強調する前後バンパーの造形や、細部まで精巧にかたちづくられたヘッドライトやグリル、そして上質な素材でコーディネートしたインテリアにより、大人の感性に響く質感の高さを表現しています。

ヘッドライトとグリル

まっすぐ前を向いたヘッドライトという考え方はそのままに、スクエアな形状とした上でフルLED化。シンプルさに先進性と華やかさをプラスしました。ポジションランプは、昼間は金属のモールに見えながら、点灯すると全体が発光するという新しい表現を採り入れたほか、流れるように点灯する

シーケンシャルターニングシグナルも採用しました。グリルは、機能性と輝きを表現するという考え方でデザイン。整然とした見え方やしっとりとした輝き方を追求するために、メッキのパーツ一つひとつの形状や配列を細かく調整し、品のある質感を目指しました。

チタンカラーのガーニッシュ ※タイプ別設定

光の当たり方でブラウンからパープル、グリーンへと変化するチタン調の偏光メタリック塗装を助手席インパネやステアリングのガーニッシュ、ドアオーナメントパネルに取り入れて、「カスタム」ならではの華やかさを表現しました。メタリックの塗料に含まれる粒子を細かいものにすることで、「しっとり」と輝く光りかたにこだわりました。



クロームのパーツ

各所の「きらめき」はN-WGN Customの特徴。パーツ全体をキラキラとこれ見よがしに光らせるのではなく、一部にアクセントとしてあしらうことで「キラリ」と輝かせる、品のよさを大切にしました。



「カスタム」専用シート

ハリと抑揚のあるカスタム専用の造形とし、表皮には起毛調のトリコットを採用。ターボ車では、サイドサポートにプライムスムースを使用し、さらなる上質感を追求しました。様々な素材を際立たせる立体感のある造形や、ダブルステッチ*等「囲う」モチーフにより、乗る人一人ひとりが「もてなし」を感じられるようにしました。 ※タイプ別設定



Photo:ターボ車

「自分の色」がきっと見つかる 豊富なカラーバリエーション

あたらしいN-WGNは、ノーマルにカジュアルで親しみやすい9色、カスタムに上質感を強調した7色の豊富なボディカラーを設定。2トーンカラーもご用意しました。パール、メタリック、ソリッドのいずれとも、あたらしいN-WGNのやわらかな表情と、しっかりとたたずまいが活きるカラーとしています。

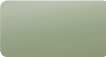
N-WGN

■ホライズンシーブルー・パール

元気いっぱいなときもそうでないときも、そっと寄り添ってくれるような色合いのブルー。陶器やホーローのような柔らかな表情を見せる一方で、光を受けるとハリのあるボディの上にゴールドの光が入ります。落ち着きと華やかさを兼ね備えた、あたらしいN-WGNにぴったりの新色です。



■カラーバリエーション ●は2トーンカラースタイル

	ルナシルバー・メタリック		クリスタルブラック・パール		ミラノレッド
	ピーチブロッサム・パール		プレミアムアガットブラウン・パール		プレミアムアイボリー・パール
	ガーデングリーン・メタリック		ホライズンシーブルー・パール		ピーチブロッサム・パール&ホワイト ●
	プレミアムアガットブラウン・パール&ホワイト ●		ガーデングリーン・メタリック&ホワイト ●		ホライズンシーブルー・パール&ホワイト ●

■ブラウンインテリア

全体を落ち着いたブラウンで統一し、明るいアイボリーのシートや助手席インパネガーニッシュ、ベージュのアームレスト等を配置。明るい印象を持ちながらも落ち着きのある、ジェンダーレスなコーディネートとしました。



N-WGN Custom

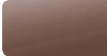
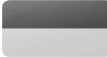
■ミッドナイトブルービーム・メタリック

一見するとシックな濃紺ですが、光を受けるとハイライトの部分に「ブルービーム」という名前にふさわしい、強めの光が走ります。上質感を高め、大人の雰囲気になじむという「カスタム」のキャラクターにぴったりのカラーです。



Photo: 2トーンカラースタイル
(ミッドナイトブルービーム・メタリック&シルバー)

■カラーバリエーション ●は2トーンカラースタイル

	プラチナホワイト・パール		シャイニンググレー・メタリック		クリスタルブラック・パール
	ミラノレッド		プレミアムアガットブラウン・パール		プレミアムベルベットパープル・パール
	ミッドナイトブルービーム・メタリック		プラチナホワイト・パール & ブラック ●		ミラノレッド&ブラック ●
	ミッドナイトブルービーム・メタリック&シルバー ●		プレミアムベルベットパープル・パール&シルバー ●		

■ブラック×チタンカラーインテリア

ルーフも含め空間全体をブラックでまとめ、助手席インパネガーニッシュ、ステアリングガーニッシュ、ドアオーナメントパネル等にチタンカラーを施すことで*、落ち着いた中にも艶やかさのある、高品位なカラーコーディネートとしました。 *Gタイプを除く



A photograph of a car's interior from the driver's perspective. The steering wheel is black with a silver Honda logo in the center. The dashboard and door panels are a light beige color. The front seats are upholstered in a grey fabric. The text is overlaid on the right side of the image.

みんなに優しい 使い勝手

手足を伸ばしたちょうどいい位置にステアリングやペダルがあり、スピードの調節がしやすい。

そんな当たり前の使い勝手のために、人の座る位置、ステアリングやペダルの配置を見直し、操作に対するクルマの動きも丁寧につくり込みました。

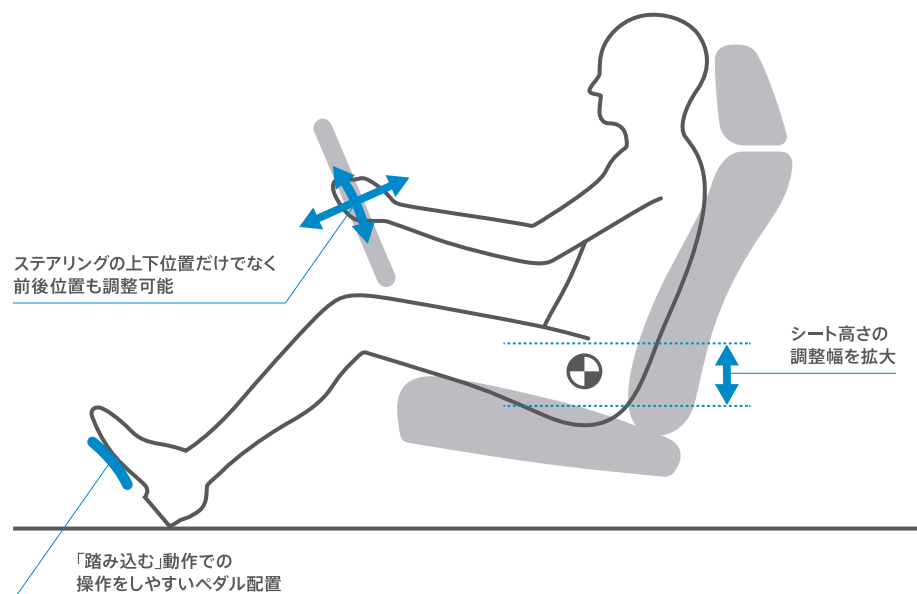
体格を問わず自分らしい姿勢で 運転しやすいドライビングポジション

「ちょうどいい姿勢」でいると身体は思い通りに動くようになるし、気持ちも前向きで明るくなります。あたらしいN-WGNが目指したのは大柄な方も小柄な方も、「ちょうどいい姿勢」を取る運転席です。毎日の通勤・通学や買い物など、毎日使うからこそ、シートやステアリングの調整の幅を大きく取ることで、体格を問わず身体に「スッ」となじむ環境を作り出しました。

ペダルの位置

あたらしいN-WGNは、ペダルを上から「踏み下ろす」のではなく、奥に「踏み込む」ように操作できる位置にペダルを配置。セダンを思わせる、ゆったりとした運転感覚をつくりだしました。

ドライビングポジション イメージ図



運転席ハイトアジャスター

シートの高さを上下させる運転席ハイトアジャスターは、50mmの幅の中で好きな位置に動かすことができます。先代N-WGNよりも調整の幅を大きくしたことで、体格を問わず、ちょうどいい姿勢で運転ができることを目指しました。

テレスコピック機構

Honda軽初*

ちょうどいい姿勢で座り、手を伸ばしたところにステアリングがある。そんな理想のドライビングポジションをかなえるため、前後にステアリングを動かせるテレスコピック機構をHondaの軽自動車のステアリングとして初めて採用*しました。

前後に30mmの幅の中で位置を調節可能で、体格を問わずちょうど良い腕の曲がり具合で運転ができます。

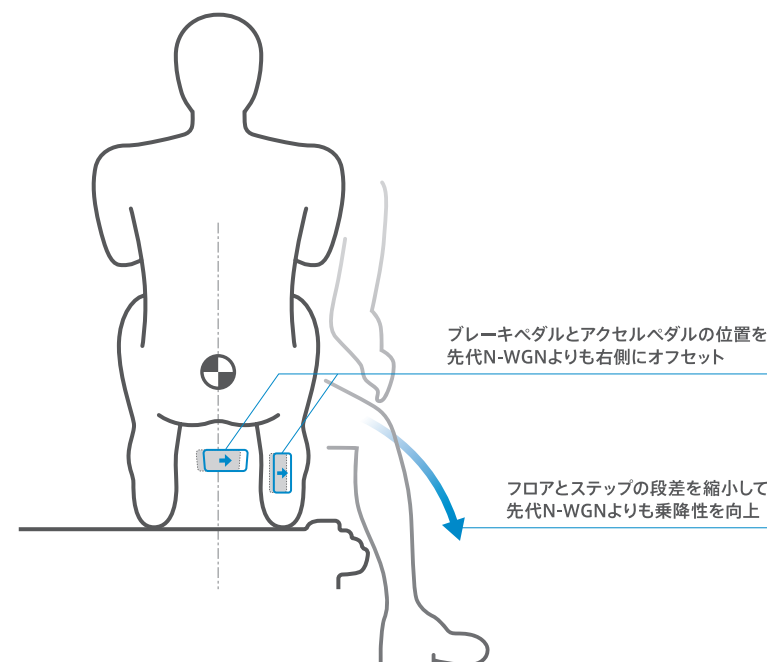
*2019年7月現在 Honda調べ

アクセルペダルとブレーキペダルの配置

アクセルペダルとブレーキペダルの位置を、先代N-WGNよりも右側にオフセットさせることで、より自然な姿勢で快適に操作できるようにしました。

また、アクセルペダルとブレーキペダルの段差も先代N-WGNより小さくすることで、踏み換えもラクにできるようにしています。

アクセルペダル・ブレーキペダル配置 イメージ図



速度のコントロールのしやすさ

力強く加速したいときもあれば、一時停止の交差点からゆっくりと発進したいときもあり、高速道路の本線から出口に向かって減速する場面もあれば、走ったり、止まったりを繰り返す街中での走行もあります。クルマを走らせることは、すなわち加減速の連続です。あらゆるシーンで思ったままに加速し、気持ちに余裕を持って減速できる、速度のコントロールのしやすさを大切にしました。

エンジン

バルブコントロール機構VTECの採用により、クラストップレベル^{*1}のパワーと、優れた低燃費を両立したNA仕様、電動ウェイトゲートバルブの採用で燃費性能とレスポンスの向上を果たしたターボ仕様、2種類のエンジンをラインアップ。交差点の加速から高速道路の合流まで、優れた加速性能を発揮します。自然吸気エンジンは、排気が触媒に均一に当たるようにエキゾーストマニホールドの形状をベ-

スとなるN-BOXから変更し、高回転域のNOx、HCを低減することで、ターボエンジンは低温から活性化する触媒およびそれに最適化した制御の採用により、平成30年規制75%低減という優れた低排出ガス性能を達成。実際の交通事情の中での燃費性能にも磨きをかけ、NA仕様ではより実用燃費に近いとされるWLTCモードでの計測値で先代N-WGN^{*2}対比約7%の低燃費化も達成しました。

^{*1} 2019年7月現在。全高1,700mm以下自然吸気エンジンの軽ハイワゴンクラス。Honda調べ。 ^{*2} 先代N-WGNの数値はHonda社内測定値。

自然吸気エンジン

最高出力 43kW[58PS]/7,300rpm
最大トルク 65N・m[6.6kg f・m]/4,800rpm

燃料消費率(国土交通省審査値) ^{*1}

WLTC	市街地モード	20.1km/L ^{*2}
	郊外モード	25.1km/L ^{*2}
	高速道路モード	23.6km/L ^{*2}

23.2 km/L
ターボ車を除くFF車

ターボエンジン

最高出力 47kW[64PS]/6,000rpm
最大トルク 104N・m[10.6kg f・m]/2,600rpm

燃料消費率(国土交通省審査値) ^{*1}

WLTC	市街地モード	17.9km/L ^{*2}
	郊外モード	23.8km/L ^{*2}
	高速道路モード	23.1km/L ^{*2}

22.0 km/L
N-WGN L-ターボ Honda SENSING (FF)



^{*1} 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

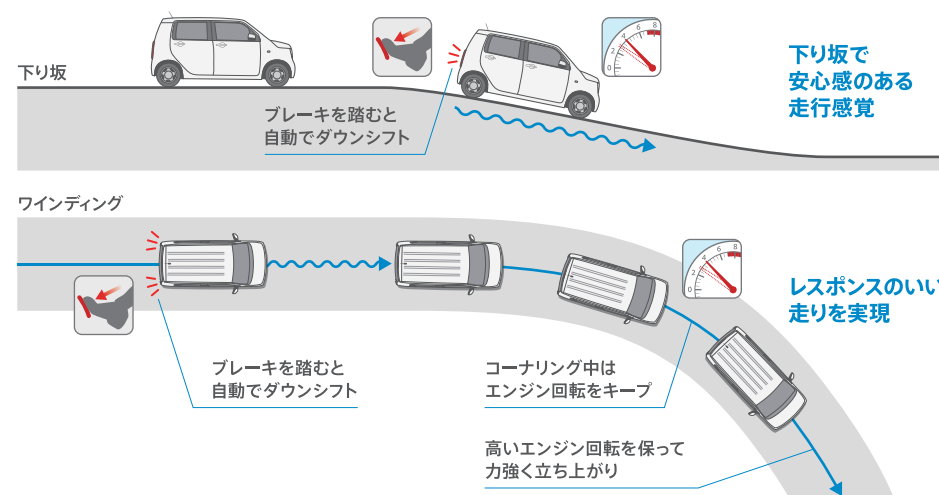
^{*2} WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。

CVT

パドルシフトやシフトレバーの操作を行うことなく、通常のブレーキ操作だけでエンジンブレーキを併用したスムーズな減速が行える、ブレーキ操作ステップダウンシフト制御を、ジェイドRSやヴェゼル

RS等にも引き続き採用しました。走行状況に応じたダウンシフトを行うとともに、エンジン回転を適切に保ち、「運転がうまくなった」かのような、なめらかな走りを可能にします。

ブレーキ操作ステップダウンシフト作動イメージ

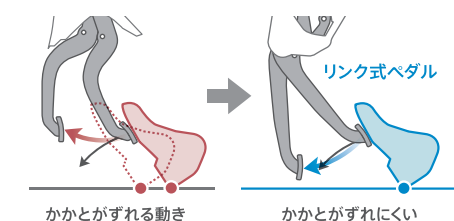


ブレーキペダル

あたらしいN-WGNでは、足の軌跡とペダルの軌跡を近づけられるリンク式ペダルを採用。かかとをずらすことなくペダル操作をできるようにし、ブレーキによる速度のコントロールが快適に行えるようにしました。

リンク式ペダルイメージ図

足の軌跡とペダルの軌跡を一致させ快適性を向上



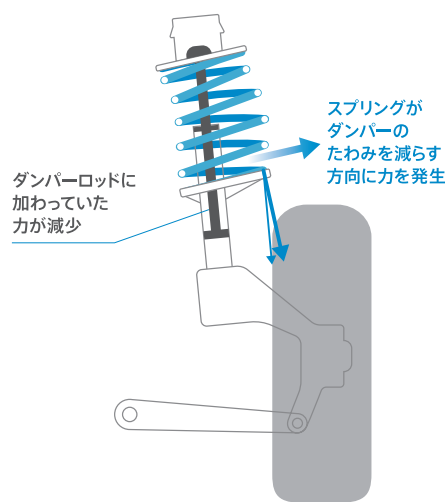
やさしい乗り心地とおだやかで 安心感のある走り

たとえ「スポーツカー」でなかったとしても、ドライバーの操作に対して思いのままに反応してくれさえすれば、どんなクルマでも「運転の楽しさ」を感じられるものと考えています。新しいN-WGNは、しなやかに路面を捉え続けるやさしい乗り心地とともに、誰もがクルマの動きを感じやすいおだやかな走りを追求。免許を取ったばかりの人でも、ベテランの方でも、きっと日常にある「運転の楽しさ」を感じていただけるはずです。

サスペンション

フロントサスペンションのスタビライザーを全車標準装備。「N-WGN Custom ターボ(FF)」はリアにもスタビライザーを装着し、安定したコーナリング姿勢と快適な乗り心地を両立させています。また、スプリングはダンパーに対してスプリングをオフセットさせた、横力キャンセルスプリングを採用しました。タイヤが上下に動いた際にダンパーに対して加わる曲げの力を、オフセットしたスプリングが打ち消すことでフリクションを低減。ダンパーのスムーズな動作を可能にし、乗り心地の良さをアップさせました。同時に、ステアリング操作によってクルマが傾く動き(ロール)からクルマが方向を変える動き(ヨー)への流れをつながりやすくし、おだやかでありながら、クルマの動きを予想しやすい走りを実現させています。

横力キャンセルスプリング効能説明図



空力性能

Hondaの軽自動車として初めて*、レーシングカーの開発も行われる「HRD Sakura」のムービングベルト式風洞で空力性能の開発を行いました。実際の走行状態をシミュレートできる環境で開発することで、先代N-WGNよりも床下の空気の流れ

を改善し、空気抵抗を低減。前後のリフトバランスも最適化して、高速走行や横風時も高い安定性を発揮し、様々なシーンで安心感の高い走行性能を実現させました。

*2019年7月現在。

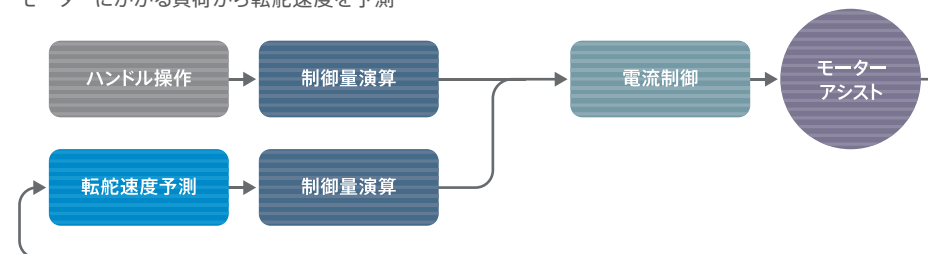
ステアリングフィール

パワーステアリングのアシスト量を決めるにあたっては、「ステアリングをどのくらいの速さで回しているか」の情報が重要です。これまではモーターにかかる負荷から「予測」することでこれを導き出していたのに対し、あたらしいN-WGNでは舵角セン

サーの実測値に基づいた信号を用いる新制御を採用。操作に対してアシストの遅れが少ない、より自然で安心感のあるステアリングフィールを実現させました。

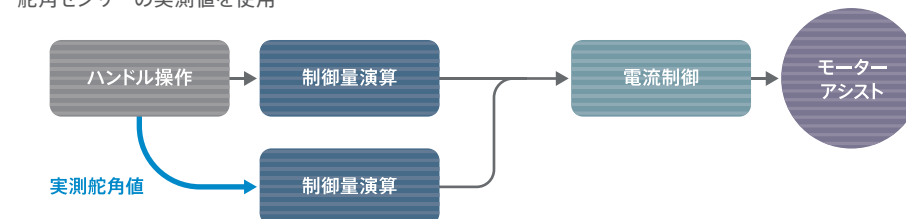
従来の制御

モーターにかかる負荷から転舵速度を予測



新しい制御

舵角センサーの実測値を使用



どこまでも走りたくなる静かさ

一人でリラックスしながら走るにも、家族や仲間と楽しく会話をしながら走るにも、重要になるのは「車内の静かさ」。あたらしいN-WGNは、ボディー構造から見直すことで、エンジンから伝わる振動やタイヤから伝わる騒音を低減。その上で防音材や遮音材を効果的に配置し、どこまでも走りたくなるような静かさを実現しました。

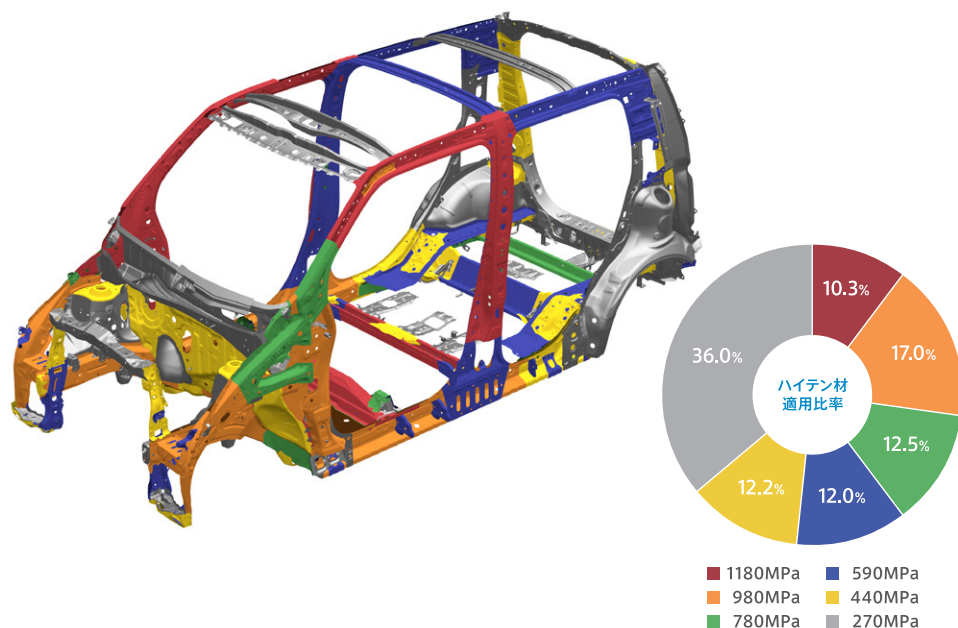
ボディー

あたらしいN-WGNでは、2代目N-BOXからの軽量・高効率なプラットフォームを活用しながら、フロアを左右に横切るクロスメンバーを専用設計した上で、高粘度接着剤によるボディー接合の適用部位も拡大。フロアまわりを高剛性化し、振動を低

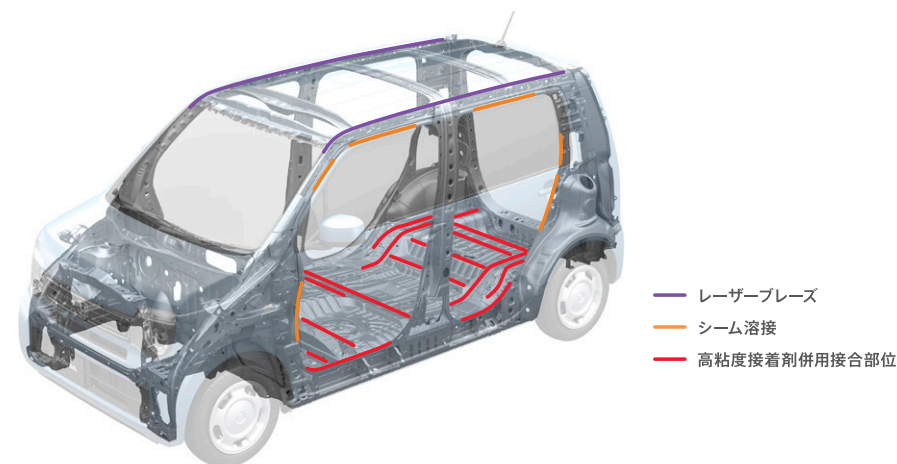
減させて静粛性を高めました。

ボディーの高強度化に効果を発揮するハイトン材は、全体の64%に使用。必要な強度を持たせながらも軽量化が可能となり、高剛性化による重量アップを最小限にとどめています。

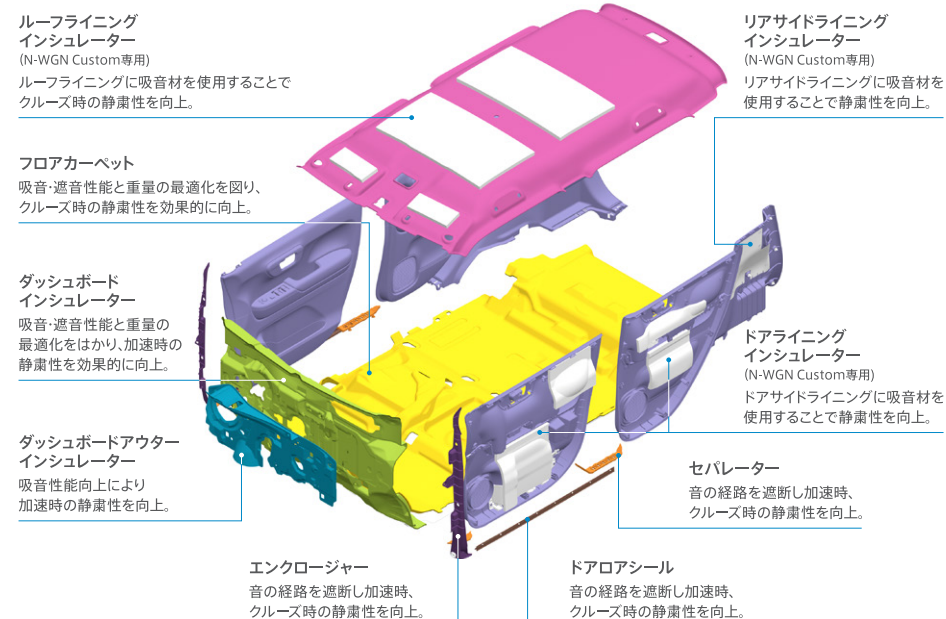
ハイトン材適用部位イメージ図



ボディー連続接合説明図



防音材・遮音材配置図



毎日使いやすい収納スペース

リアゲートを開ければ大きな荷室が広がり、ワンアクションでシートを倒せばほぼ段差の無い荷室スペースが出現。さらに、手元やリアシート下など、ちょうど物を置きたい位置に、ちょうどいい収納が用意されています。誰が、どんなシーンで使っても、深く考えず見たまま、思ったまま使いこなせる収納スペースを目指しました。

ラゲッジルーム

あたらしいN-WGNの荷室の特徴は、低い床。ペットボトルやビールケース、さらにはスタッドレスタイヤなど、重い荷物も少し持ち上げるだけで載せることができます。荷室はボードで仕切り、上段にも下段にもたっぷりと荷物を積めます。上段の高さはショッピングカートのカゴの高さに設定。カートにマイバケットを載せたまま駐車場

に移動し、トランクに移し替えるといったシーンにぴったりです。

大きな荷物があるときは、リアシートを倒せば、ほぼ段差の無い、フラットな空間が出現。毎日の買い出しから、家具などちょっと「大物」の運搬まで、さまざまなシーンで活躍できる使い勝手を追い求めました。

ラゲッジルームアレンジ



ローフロアモード
ラゲッジルームの低床フロア化により、重い荷物も楽に収納可能。



ビッグラゲッジモード
リアシートをワンアクションで倒し、ほぼ段差の無い空間が出現。



2段ラックモード
フロアボードで仕切れば、上段使用時も下段を有効活用できます。

収納スペース

リアシート下、フロントシートバック、センターコンソールなど、使う人が自然と心地よく使える場所に、使いやすさにこだわった収納スペースを配置。

よく使うものは目に付く位置に、あまり使わないものは目に付かない位置に置くことができるようにしました。

収納スペースの一例



置き場所に困る傘や長尺物などを収納できるリアシートアンダートレイ。



スマートフォンやゲーム機を収納できるシートバックアッパーポケット。
※タイプ別設定



足もとのおもひに目につかない場所に配置したセンターローアボックス。



誰でもどこでも 楽しく乗れる**安心感**

混み合った市街地でも「見たい」と思った場所がよく見えて、
高速道路も安心して走ることができる。

万が一の見落としが無いよう、クルマがドライバーとともに
前方を見張り、もしものときにはしっかりと守る。

どんな場面でも安心して使ってもらえるよう、
クルマとして大切な安全性能をとことん磨き上げました。

「見たいところが見える」すっきりとした視界

クルマの安全性能がどんなに進化しても、すべての基本になるのは「運転する人が、きちんとまわりの状況を判断できること」です。あたらしいN-WGNは、普通に走っているだけでも、まわりを走る他のクルマやバイクの気配まで感じられるような、すっきりした視界を追求。ヘッドライトの点灯、ハイビーム・ロービームの切り替えも自動で行い、夜間の「よく見える」をサポートします。

前方視界

ドライバーの近くにあり、運転中は常に視界に入るフロントピラーは、ハイテン材の使用により先代N-WGN同等以上の強度を確保しつつ、6mm細幅化しました。これにより、交差点を曲がるとき、カーブを曲がるときの広々とした視界を実現。ワイパーも運転時の視界に入らないよう、搭載位置を下げて、より運転に集中できる環境をつくりあげました。



後方視界

リアもワイパーモーターをウインドウにかからない位置に搭載することで、広々とした後方視界を確保。走行中、駐車時の後方確認を快適に行えるようにしました。すっきりとスクエアなかたちの視界を確保することで、周辺の建物等との対比がさせやすく、バック駐車時の車両感覚のつかみやすさにも寄与させています。またカメラの画素数向上と、ゆがみを軽減する映像処理により、バックモニターはより鮮明な映像を表示できるようになりました。



デフォルトオート機能付ヘッドライト

夜間または周囲が暗い場合、走行中は常にヘッドライトが自動で点灯し、「点け忘れ」を防止します。手動でヘッドライトを消灯した場合も、走り始めると自動で再点灯。従来の「オートライト」よりも周囲が明るい段階からライトがONになるよう、制御を変更しています。N-BOXと同様、オートハイビームも採用し、前を走る車のテールランプや対向車のヘッドライトをカメラで認識してハイビームとロービームを自動で切り替え。出発から到着まで、わずらわしいスイッチ操作を一切不要にしました。



先進技術で走りを見守るHonda SENSINGと 安心感・快適性を高める装備

最新のHonda SENSINGを標準装備*。

渋滞中も使えるように進化したACC<アダプティブ・クルーズ・コントロール>や、より暗い状況に対応した歩行者検知や自転車検知などで、ドライバーの疲労軽減や安心感の向上を図りました。

便利な電子制御式パーキングブレーキやパーキングセンサー等の装備も充実させています。

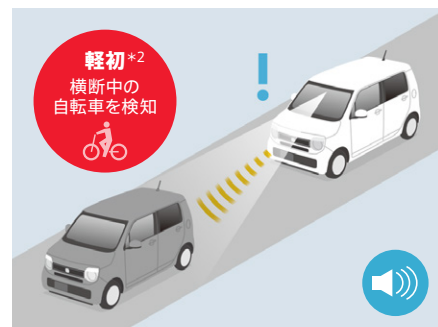
*一部のタイプでは装備しない仕様もお選びいただけます。

衝突軽減ブレーキ<CMBS>

従来のHonda SENSINGより制御システムを改良し、夜間における歩行者の検知性能も進化*1しました。これに加えて、横断している自転車を検知できる機能も軽乗用車で初めて搭載*2。衝突の可能性がある場合は警報を鳴らすとともに、自動で強いブレーキをかけて衝突回避・被害軽減を図ります。

*1 平成31年度J-NCAPで導入予定の街灯無しの試験条件で、Honda社内試験にて横断歩行者5km/hに対し自車速度30-50km/hで衝突回避を確認

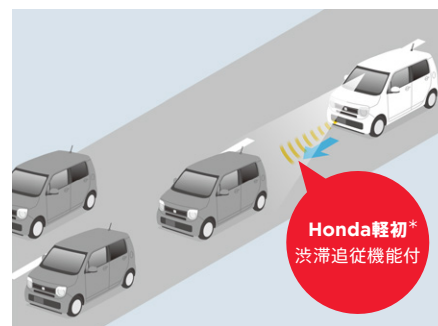
*2 2019年7月現在 Honda調べ



渋滞追従機能付ACC<アダプティブ・クルーズ・コントロール>

渋滞中にも、前を走るクルマとの車間距離を保ちながら自動で加減速を行い、運転を支援する渋滞追従機能付ACCを採用しました。前の車両が停止した場合は、それに合わせて自動で停止*。3秒以内で前のクルマが発進した場合はそのまま、3秒以上止まっていた場合もボタン操作かアクセル操作で前を走るクルマへの追従を再開し、高速道路での渋滞時の追従走行を支援します。イライラが募りがちな渋滞時のわずらわしさを軽減し、快適性を高める技術です。

*2019年7月現在 Honda調べ



誤発進抑制機能



歩行者事故低減ステアリング



先行車発進お知らせ機能



標識認識機能



路外逸脱抑制機能



LKAS<車線維持支援システム>
LKAS=Lane Keep Assist System



後方誤発進抑制機能



オートハイビーム

■Honda SENSINGは、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力(認識能力・制御能力)には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気を付け、安全運転をお願いします。車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況、車両状態等によっては、作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。■衝突軽減ブレーキ(CMBS)は、約5km/h以上で走行中に自車との速度差が約5km/h以上ある前走車、歩行者、移動する自転車、または対向車に対して衝突する可能性があるシステムが判断した場合に作動し、自動的に停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を図ります。対向車、歩行者、移動する自転車に対しては、自車が約100km/h以下で走行中の場合に作動します。■誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で走行しているとき、自車のほぼ真正面の近距離に車両などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだ場合に、エンジン出力を抑制し、急な発進を防止するとともに、音と表示で接近を知らせます。■歩行者事故低減ステアリングは、約10km/h～約40km/hで走行中に、システムが歩行者側への車線逸脱と歩行者との衝突を予測した場合に、ステアリング操作による回避を支援します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているときシステムが判断した場合、ウィンカーを動作させている場合は作動しません。■路外逸脱抑制機能は約60km/h～約120km/hで走行中に、路外への逸脱またはシステムが路外への逸脱を予測したとき、作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているときシステムが判断した場合、ウィンカーを動作させている場合は作動しません。■渋滞追従機能付ACCは、0km/h以上で作動します。前方車両に接近しすぎると、ブレーキペダルを踏むなどして適切な車間距離を保ってください。急なカーブや加速・減速の繰り返しが少ない、高速道路や自動車専用道路などを運転するときに使用してください。■LKAS<車線維持支援システム>は、約65km/h以上で作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者がステアリングから手を放した状態や、運転者が意図的に車線を越えるようなステアリング操作をしているときシステムが判断した場合、ウィンカーを動作させている場合は作動しません。急なカーブや加速・減速の繰り返しが少ない、高速道路や自動車専用道路などを運転するときに使用してください。■オートハイビームは、約30km/h以上で走行中に作動します。ハイビームとロービームの自動切り替え制御には状況により限界があります。つねに周囲の状況を確認し、必要に応じて手動で切り替え操作を行ってください。

安心感・快適性を高める装備

電子制御パーキングブレーキ*1

スイッチ操作でパーキングブレーキを作動・解除。発進時にはアクセルを踏むだけで自動的に解除することも可能です。

オートブレーキホールド機能*2

停止時にブレーキペダルから足を離しても停止状態を保ちます。信号待ちでブレーキを踏み続ける必要が無く、坂道の停止時も安心。作動中はアイドリ

ングストップが継続し*3燃料消費量を低減します。

パーキングセンサーシステム*2

ナビ画面とマルチインフォメーションディスプレイの表示、ブザー音で障害物の接近を知らせます。

*1 Honda SENSING非装着車は「フットパーキングブレーキ」が装備されます。

*2 Honda SENSING非装着車には装備されません。

*3 バッテリーの状態などにより、継続しない場合もあります。

もしもの時に備える衝突安全性能

軽自動車として初めてJ-NCAP 5スターを達成した*先代N-WGNの衝突安全性能をさらに進化。万一の際に乗っている人をしっかりと守るのはもちろん、相手の車両や歩行者へのダメージも低減させることを目的とし、全方位にわたって安全性能を高めました。

*2013年11月時点。Honda調べ。

衝突安全ボディー

前面衝突対応

相手車両との骨格のすれ違いを防止しながら、衝突のエネルギーをフロアとサイドシルへ分散。フロントピラーにも荷重を伝達し、効果的に生存空間を確保。

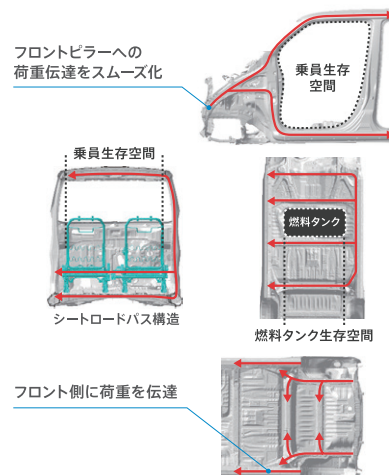
側面衝突対応

シートも荷重伝達部品として使うことで非衝突側に荷重を伝達し、生存空間を確保。電柱などへの衝突を想定した実験でも安全性を検証しています。

後面衝突対応

トランクルームを潰しながらフロント側に荷重を伝達して生存空間を確保。燃料の配管も保護します。

衝突安全ボディー説明図

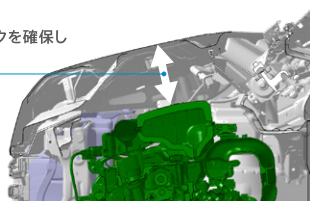


歩行者保護

フードとエンジンの間に、先代N-WGNよりも大きな空間を設けたほか、フード下のパーツは衝撃が加わると折れ曲がる構造としました。万一の歩行者事故発生時に、歩行者の頭に加わる衝撃をやわらげます。また、フロントフェイスに平らな面を設けるようにすることで脚への衝撃を分散させ、ダメージを軽減します。

歩行者保護ボンネット説明図

フード下ストロークを確保し
衝撃を緩和

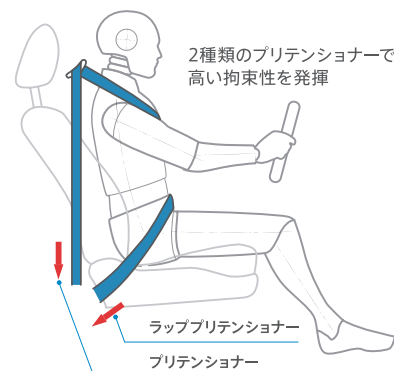


乗員保護



もしもの場合に備え、運転席用&助手席用i-SRSエアバッグシステム、前席用i-サイドエアバッグ+サイドカーテンエアバッグシステム〈前席/後席対応〉と、全てのエアバッグを標準装備。フロント席のシートベルトには、衝突時に肩ベルトのみならず腰ベルトも引き込んで、身体が大きく移動することを防ぐアウトターラッププリテンショナーを採用しました。

前席シートベルト説明図



運転席用&助手席用i-SRSエアバッグシステム

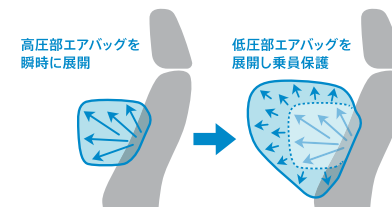
乗員がエアバッグに接触するまでの時間が長くなるケースでも十分な内圧を保持し、優れた保護性能を発揮します。

サイドカーテンエアバッグシステム

小柄な人から大柄な人まで、幅広い体格の方を保護できるよう、考慮した設計となっています。

前席用i-サイドエアバッグ

N-BOXと同様、2層構造のエアバッグを採用。高圧エアバッグを瞬時に開いたのちに低圧エアバッグを開くようにすることで、展開速度を速めながらも乗員への衝撃を効果的に緩和します。



安全装備／近接支援機能	タイプ 駆動方式	G Honda SENSING		L Honda SENSING		L・ターボ Honda SENSING		G Honda SENSING		L Honda SENSING		L・ターボ Honda SENSING	
		FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD
	Honda SENSING (衝突軽減ブレーキ(CMSB)、誤発進抑制機能、歩行者感知減速アシスタリング、先行車発進お知らせ機能、横断歩道検知機能、盲点検知抑制機能、渋滞追従機能付ACC(アダプティブ・クルーズ・コントロール)、LKAS(車線維持支援システム)、後方発進抑制機能、オートハイビーム)			●※1		●		●			●		
	パーキングセンサシステム			●※2		●					●		●
	マルチリフレクターハザードヘッドライト(マニュアルレベリング/オートライトコントロール機構付)			●		●							
	LEDヘッドライト(プロジェクトタイプ(マニュアルレベリング/オートライトコントロール機構付))					○		●					
	9灯式フルLEDヘッドライト(マルチリフレクタータイプ(マニュアルレベリング/オートライトコントロール機構付))							●			●		●
	車側盲点レーンキープ機能			●※3		●		●			●		●
	オートブレーキホールド機能			●※2		●		●			●		●

[illegible]

快速整備 メニュー	ナビ装置用スペシャルパッケージ +ETC車載機(ナビゲーション兼用)※4	●	●	●	●	●
	充電用USBジャック(急速充電対応タイプ2個付)※6	●	●	●	●	●
	フルオート・エアコンディショナー	●	●	●	●	●
	ブラズマクラスター技術搭載	●	●	●	●	●
	シートヒーター	●	●	●	●	●
		運転席	●	●	●	●
		助手席	●	●	●	●

【**★タイプ別標準装備**】※マルチインフォメーションディスプレイ（インナーモニター/ドアモニター/リムモニター）/外気温表示/瞬間燃費/平均燃費/積算燃料消費量/経時距離表示（機能など）※Hondaスマートフォート（キー2台付）※8インチマルチタッチフルスクリーンディスプレイ/ナビゲーションシステム/Bluetooth/スマートフォン連携/PM2.5対応高性能花粉フィルター/AIRオーディオ2チャンネル4DWR※1/パワーウィンドウ（運転席/後部3席独立止動機能/パワーオープン/機構付）/助手席/リア左右各1）/パワードウアー※2/電気式テールゲートオープンスイッチ/ワンタッチウィンカー※3/ヘッドライトオートオフ機能※4/フロント2スピーカー

※1 電動/パワーディスプレイ ※2 ライフ消し忘れ警告ペーパー ※3 時計 ※4 燃料残量警告灯 ※5 5段階オートロック

	●	●	●			
ジェージシート（背席・トリコット）						
トリコットシート				●		
	アクセント部：ジェージ				●ダブルスリッパ	
プライムスエース&トリコットコンビシート（アクセント部：ジェージ～）						●ダブルスリッパ
シートバックポケット	運転席	●アッパー	●アッパー		●アッパー	●アッパー
	助手席	●アッパー＆ロアー	●アッパー＆ロアー	●ロアー	●アッパー＆ロアー	●アッパー＆ロアー
アレルクリーンプラスシート			●			
本基巻ステアリングホイール			●			
ステアリングガーニッシュ	アップパーガーニッシュ	●	●ブラウン塗装	●ブラウン塗装	●	●チタン銀黒光塗装
	ローアークガーニッシュ	●	●アイボリー塗装	●アイボリー塗装		●チタン銀黒光塗装
ステアリングスイッチガーニッシュ		●	●	●	●ピアノブラック調	●ピアノブラック調
助手席インパネガーニッシュ		●	●	●	●チタン銀黒光塗装	●チタン銀黒光塗装
シフトパネルガーニッシュ		●	●	●	●シルバー塗装	●シルバー塗装
コラムメッキ加飾（インナードアハンドル、セレクトレバーボタン&カバー、エコドライブコントロールノブ&ホルダー、エアコンフロントダクトダブリッジ）		●	●	●		●
チタンドーム光沢鏡面ドアオーナメントパネル（フロントリア）						
ドアアルミスト	●	●ベージュ	●ベージュ	●フグザク	●フグザク	
オーディオガーニッシュ			●			
シルバートーン塗装エクステンションスイッチパネルガーニッシュ				●C77フラッグ調のシルバー塗装	●C77フラッグ調のシルバー塗装	
インテリアアルミニウムーション（インパネペーデル（助手席側）/ドリンクホルダー（運転席）/フット（運転席/助手席））				●	●	●

【タイピング標準漢字】①ロケットパンチ②アムレス(運転席)③フォルム(運転席後部)④5分制タイスイリヤット⑤グライミング/ライト⑥バチメー/グー/パンパンバ⑦運転席(キヤット)ホールド/助手席⑧ドラバースローク⑨セクター/ローボックス⑩リクシムホールド⑪収納ドラムホルダー(助手席側)⑫パシネ(助手席側)⑬グー/パンパンバ⑭アムレス⑮ボルトホルダー(助手席/後席)⑯ドリアン/ボルト(左右)⑰フロントドア/ボケット(ボルト/助手席)⑱リアシート/アンダーロー⑲コンビニフック(運転席後部/後席)⑳ルームランプ(フロント/リア)⑪-WGN CustomisLEDルームランプ⑫アクサセリ/ボケット⑬PC12V⑭グライフール(運転席/助手席/リア右席)

H N S A N I T A R Y	LEDリアコンビネーションランプ(ストップランプ&テールランプ)	●	●			
	フルLEDリアコンビネーションランプ			●	●	●
	360°スーパーUV-IRカットパッケージ					
	●IRカット(逆熱)/UVカット機能付フロントウィンドウガラス		●		●	●
	●IRカット(逆熱)/スーパーUVカットガラス(フロントドア/フロントドア)					
	●IRカット(逆熱)/スーパーUVカットガラス(サイドア/テールゲート)					
	UVカット機能付フロントウィンドウガラス	●				
	高熱吸収型機能付フロントドアコーティング	●				
	高熱吸収型UVカット機能付フロントドアガラス	●				
	高熱吸収型UVカット機能付サイド/テールガラス(リアドア/テールゲート)	●				
C A R P A R T S	電動格納式リモコンカードアダプター		●※9	●	●	●
	フロントワイパー(ミスト撥水付)			●		
	車速追従間欠/リニアブル雨天		●	●	●	●

[N-WGN Custom専用エクステリア] ●カスタムデザインバンパー(フロント/リア) ●カスタムデザインフロントグリル ●ドアベルトモール(ステンレス) ●カラードサイドシルガーニッシュ ●カラードテールゲートスポイラー ●LEDシーケンシャルターンシグナルランプ(フロント) ●LEDフォグライト+クロームメッキフォグライトガーニッシュ ●クロームメッキ・アウタードアハンドル ●クロームメッキ・リアライセンスガーニッシュ ●LEDドアミラーウィンカー ●ジャックアップインデント

【全タイプ標準装備】●親水/ヒートドドアミラー+フロントドア撥水ガラス[4WD車] ●ウオッシャー付開欠リアワイパー(リバース連動) ●フロントウインドウウオッシャー(スプレータイプ)

足 まわ り 部 品 の 取 組 み 方	14インチスチールホイール+スチールラジアルタイヤ+フルホールキップ		●		●※10		●※10					
	14インチアルミホイール(ブラック塗装+切削)+スチールラジアルタイヤ						●		●			
	15インチアルミホイール(ブラック塗装+切削)+スチールラジアルタイヤ										●	
	リアスタビライザー										●	●
	パドルシフト						●					●
	フロントベンチレーテッドディスクブレーキ	●※11	●		●		●	●		●		●

【全タイプ標準装備】●フロントスタビライザー ●応急パンク修理キット(スベアタイヤレス)

※1 Honda SENSING を装着しない状態で走行し利用することができません。 ※2 Honda SENSING は海外では提供されません。 ※3 Honda SENSING 非装着車には「フットペグブレーキ」が装備されます。 ※4 国・地区別、車種および安全主観のため、今後 ETC/ETC2 対応の車種が追加して提供されます。詳しくは <https://www.hondacpa.com/auto-lineup/ETC/> でご確認ください。 ※5 本車には標準車種の「フロンティア」メーカーとの合供があります。 ※6 「ヤマハナレッジ」検索機能には、音楽・検索エンジンと統合された USB/クラウド「音楽検索」が追加されます。 ※7 Honda SENSING 非装着車には「イメージアシストディスプレイ（オートメーション・ドライビング）」の表示領域が狭くなります。 ※8 本車には標準車種の「ディスプレイ」に表示される内容が異なります。 ※9 Honda SENSING オートシステムは、運転・解錠のときに音声で発信します。その音、距離、幅のイメージセンサーの取付位置や構造により影響を与える可能性があります。 ※10 「LEDヘッドライト」を装着した場合、「オートリトラミラー」が装着されます。 ※11 2トンカーラをお選びいただいた場合、「フルホイールキャップ」は2トンカーラ専用デザインとなります。

■メーカーオプションは組み合わせによっては同時装着できない場合がございます。また、他のメーカーオプションとセット装着になる場合がございます。

■メーカーオプションは、メーカーの工場で作成するため、ご注文のお受けできせんのでご了承ください。■仕様なごびに装備は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■タイプ、カラー、オプション等により納期が異なります。■写真は実例のためと多少異なることがあります。

	タイプ	G		L		L-ターボ		G		L		L-ターボ			
		Honda SENSING FF	Honda SENSING 4WD	Honda SENSING FF	Honda SENSING 4WD	Honda SENSING FF	Honda SENSING 4WD	Honda SENSING FF	Honda SENSING 4WD	Honda SENSING FF	Honda SENSING 4WD	Honda SENSING FF	Honda SENSING 4WD		
車名・型式		ホンダ 68A-JH3	ホンダ 68A-JH4	ホンダ 68A-JH3-0	ホンダ 68A-JH4	ホンダ 68A-JH3	ホンダ 68A-JH4	ホンダ 68A-JH3	ホンダ 68A-JH4	ホンダ 68A-JH3-0	ホンダ 68A-JH4	ホンダ 68A-JH3	ホンダ 68A-JH4		
トランスミッション		数段変速オートマチック(トランスミッション)併用													
全長(m)/全幅(m)		3,395/1,475													
全高(m)		1,675	1,695	1,675	1,695	1,675	1,695	1,705	1,725	1,705	1,725	1,705	1,725		
ホイールベース(m)		2,520													
トレッド(m)	前	1,305	1,300	1,305	1,300	1,305	1,300	1,305	1,300	1,305	1,300	1,305	1,290		
	後	1,295													
最低地上高(mm)		0.140	0.145	0.140	0.145	0.140	0.145	0.140	0.145	0.140	0.145	0.140	0.145		
車重(kg)		850#2	910#2	850	910	860	920	850	910	850	920	870	930		
乗車定員(名)		4													
客室内寸法(m) 長さ/幅/高さ		2,055/1,350/1,300													
エンジン型式/エンジン種類・シリンダー数及び配置		SO7B/水平対向3気筒直列													
排気機		DOHC・チューン電装 2バルブ 2弁22													
総排気量(L)		0.658													
内径×行程(mm)		60.0×77.6													
圧縮比		12.0				9.8				12.0				9.8	
燃料供給装置形式		電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI)													
燃料タンク容量(L)		燃料ジェネラータリウム													
燃費効率(kW[PS]/rpm)		27	25	27	25	27	25	27	25	27	25	27	25		
最大出力(kW[PS]/rpm)		43(58)/7,300				47(64)/6,000				43(58)/7,300				47(64)/6,000	
最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)		65(6.6)/4,800				104(10.6)/2,600				65(6.6)/4,800				104(10.6)/2,600	
燃料消費率(国土地交通省省令) WLTC km/L		23.2	21.2	23.2	21.2	22.0	20.4	23.2	21.2	23.2	21.2	21.2	20.6		
市街地モード(WLTC-L) km/L		20.1	18.7	20.1	18.7	17.9	17.9	20.1	18.7	20.1	18.7	17.8	17.0		
郊外モード(WLTC-H) km/L		25.1	22.8	25.1	22.8	23.2	22.0	25.1	22.8	25.1	22.8	23.0	21.5		
市街地・郊外モード(WLTC-C-H) km/L		23.6	21.4	23.6	21.4	23.1	21.0	23.6	21.4	23.6	21.4	21.9	20.6		
燃料消費率(国土地交通省省令) JC08 km/L		29.0	25.4	29.0	25.4	25.8	24.2	29.0	25.4	29.0	25.4	25.2	23.8		
主駆動装置向上対策		アイドリングストップ/可変バルブリック/電動無段変速機(CVT)/電動パワーステアリング													
最小回転半径(m)		4.5	4.7	4.5	4.7	4.5	4.7	4.5	4.7	4.5	4.7	4.5	4.7		
加速性	前進	3.680→0.674				3.52→0.577(ニュートラルモード)				3.680→0.674				3.52→0.577(ニュートラルモード)	
	後進	2.958→1.620				2.958→1.532				2.958→1.620				2.958→1.532	
減速性		4.318	前4.318 後2.533	4.318	前4.318 後2.533	4.619	前4.619 後2.533	4.318	前4.318 後2.533	4.318	前4.318 後2.533	4.619	前4.619 後2.533		
ステアリング装置形式		ラック・アンド・ピニオン(電動パワーステアリング仕様)													
タイヤ	前・後	155/65R14 75S													
主ブレーキの種類・形式	前・後	油圧式ベンチレーテッドディスク3/油圧式リアディング・ブレーキ													
サスペンション方式	前	マクファーン式													
	後	操舵式	ド・ディオン式	車軸式	ド・ディオン式	車軸式	ド・ディオン式	車軸式	ド・ディオン式	車軸式	ド・ディオン式	車軸式	ド・ディオン式		
スプリンダー形式	前	トーション・バー													
	後	トーション・バー													

[illegible]

単位:mm
N-WGN G
Honda SENSING (FF)

[illegible][illegible]

「移動の喜びを一人ひとりに」。Hondaは、人間尊重の基本理念のもとに福祉車両、販売店についても幅広い取り組みを進めています。

「スローパシ校」が大好評をいただいているN-BOXに続き、あたらしいN-WGNには「助手席回転シート車」をラインアップしました。乗降時の負担をやわらげ、足腰が少し弱ってきたといった方の移動をサポートします。

